



国道144号(大前工区) 線形改良



与喜屋沢 土石流対策



上信自動車道(吾妻西バイパス) バイパス整備

よ く わ か る
公 共 事 業

～ 公共事業の目的、効果、進捗状況を情報発信 ～

吾妻地域

令和8年度版

吾妻地域



番号	事業内容	施工箇所	路河川名
1	落石対策	草津町草津	国道292号(草津工区)
2	バイパス整備	東吾妻町植栗～厚田	上信自動車道(吾妻東バイパス)
3	現道拡幅	東吾妻町植栗 ～中之条町伊勢町	県道植栗伊勢線
4	バイパス整備	東吾妻町箱島～植栗	上信自動車道(吾妻東バイパス2期)
5		長野原町与喜屋 ～嬭恋村鎌原	上信自動車道(長野原嬭恋バイパス)
6	土石流対策	長野原町与喜屋	与喜屋沢
7	地すべり対策	中之条町生須	生須地区
8	土石流対策	東吾妻町箱島	橋横倉沢
9	地すべり対策	中之条町蟻川	熊野沢地区
10	がけ崩れ対策	東吾妻町原町	諏訪前地区
11		高山村中山	判形5区1地区
12	土石流対策	東吾妻町大戸	鳴瀬沢

番号	事業内容	施工箇所	路河川名
13	がけ崩れ対策	嬭恋村大前	神前地区
14	登坂車線	長野原町大津	国道292号(洞口工区)
15	現道拡幅	東吾妻町大戸	国道406号(大戸工区)
16		嬭恋村鎌原	県道大笹北軽井沢線(鎌原工区)
17	現道拡幅 (浜岩橋含む)	長野原町羽根尾～古森	国道146号(古森3期工区)
18	現道拡幅	東吾妻町原町	県道下沢渡原町線(原町工区)
19	歩道整備	中之条町伊勢町	国道353号(伊勢町工区)
20	バイパス整備	嬭恋村鎌原～田代	上信自動車道(嬭恋バイパス)
21	孤立対策	嬭恋村干俣	県道大前須坂線(干俣工区)
22		嬭恋村干俣	県道牧干俣線(干俣工区)
23		中之条町四万	国道353号(四万工区)
24	土石流対策	中之条町四万	寺裏沢

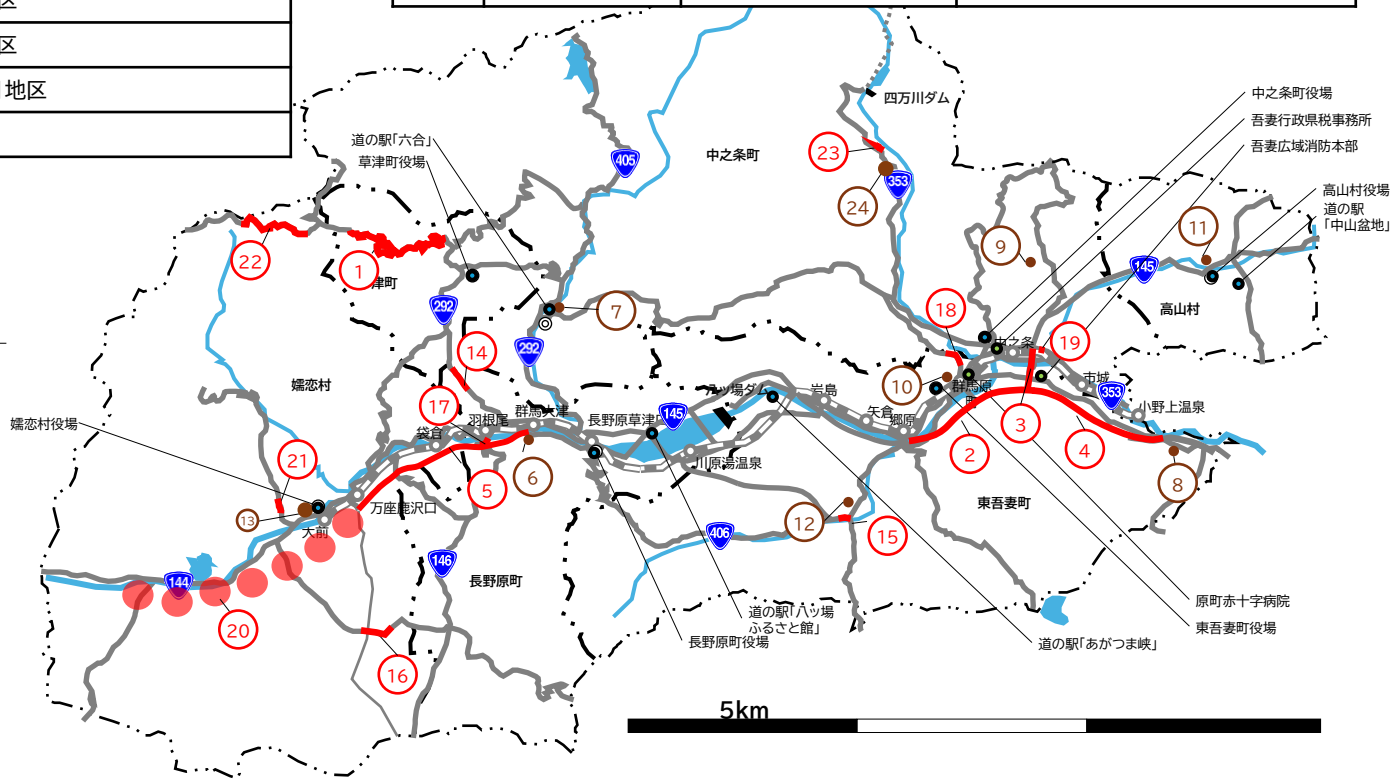
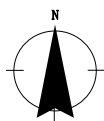
凡例

【事業分野区分】

- 道路事業 (赤線)
- 河川事業 (青線)
- 砂防事業 (茶色丸)
- その他事業(下水、住宅等) (緑丸)

【その他】

- 主要な防災拠点(第1次防災拠点)
- 主要な防災拠点(第1次防災拠点以外)
- 主要な物流拠点(産業団地)



5km

どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

バイパス道路をつくります

地元の声

- ・吾妻は災害で通行止めとなると陸の孤島になるため早く整備してほしい。(地元住民)
- ・車に頼らざるを得ない地域のため、スムーズかつ安全に車で移動できるようにしてほしい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 東吾妻町厚田～植栗
- 事業内容: バイパス整備 延長6.4km、幅10.5m
- 事業期間: 平成25年度～
- 緊急輸送道路: 該当(第一次緊急輸送道路)
- 重要物流道路: 該当

- 現在の交通量: 9,329台/日(国道145号) (令和3年度)
- 計画交通量 : 13,400～16,700台/日(バイパス) (令和22年度): 3,200～9,200台/日(国道145号)

事業前

◆ 現道の国道145号は斜面崩壊の発生箇所や急傾斜地崩壊危険区域が存在し、緊急輸送道路でありながら、災害時に通行止めとなるおそれがあります。



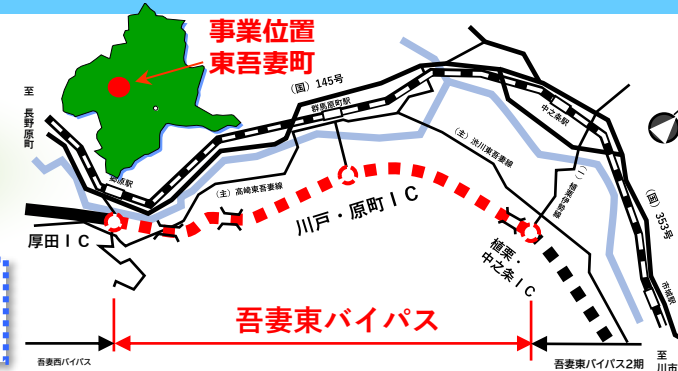
事業後

◆ 現道の危険箇所を回避し、災害時の代替路となる新たな道路ネットワークが確保されます。
◆ 高速道路に準じた速達性と定時性の高い走行が可能となり、移動時間が短縮されます。

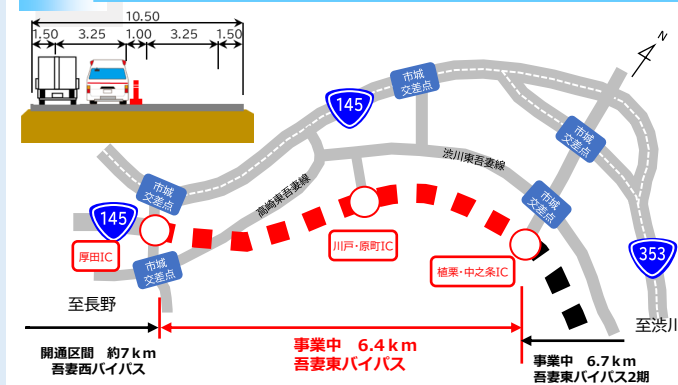


成果を示す項目	実施前
急傾斜地崩壊危険区域	2箇所
所要時間(渋川伊香保IC～草津温泉)	約1時間30分

実施後(目標)
バイパス完成により回避
約1時間(30分短縮)

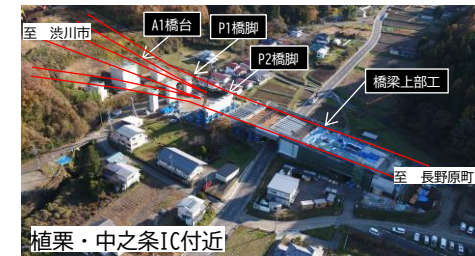


事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は用地取得、埋蔵文化財調査、橋梁工事、道路改良工事を推進します。



どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

道路を拡幅し、カーブをゆるくします

地元の声

- ・災害時における安全な通行を確保してほしい。(地元住民)
- ・道幅が狭く、急勾配・急カーブで特に冬期は凍結しやすく危険。(地元住民)

事業の概要

- 事業個所: 東吾妻町植栗 ~ 中之条町伊勢町
- 事業内容: 現道拡幅 延長 1.7km、幅員 13.0m
- 事業期間: 平成25年度~

- 現在の交通量: 5,055台/日(自動車) (令和3年度) : 13人/12時間(歩行者) : 27台/12時間(自転車)
- 計画交通量 : 8,400台/日(自動車) (令和22年度)

事業前

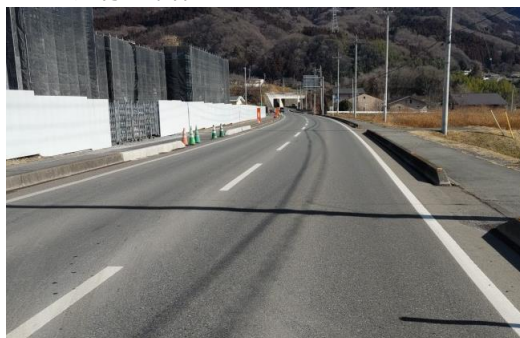
◆道路幅が狭く、急勾配・急カーブ区間があり、安全な通行に支障があります。



事業前の状況

事業後

◆車道の拡幅、急勾配・急カーブ区間の解消に安全な通行が確保されます。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
車両同士のすれ違い	困難(幅員4.5m)
急カーブ数	2箇所

実施後(目標)
すれ違いが容易に(幅員6.5m)
0箇所



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

- ・令和8年度は、1期工区の道路改良工事、電線共同溝工事及び渋川東吾妻線大泉寺橋の架替を行います。
- ・2期工区は、用地取得及び埋蔵文化財調査、道路改良工事、電線共同溝工事を行います。



どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

バイパス道路をつくりま

地元の声

- ・吾妻は災害で通行止めとなると陸の孤島になるため早く整備してほしい。(地元住民)
- ・国道でも渋滞している地域がある。スムーズに移動できるように整備してほしい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 東吾妻町箱島～植栗
- 事業内容: バイパス整備 延長 6.7km 道路幅 10.5m
- 事業期間: 平成26年度～
- 緊急輸送道路: 該当(第一次緊急輸送道路)
- 重要物流道路: 該当
- 現在の交通量: 13,589台/日(国道353号) (令和3年度)
- 計画交通量 : 20,200台/日(バイパス) (令和22年度): 2,200台/日～6,000台/日(国道353号)

事業前

- ◆ 現道の国道353号は斜面崩壊の発生箇所や急傾斜地崩壊危険区域が存在し、緊急輸送道路でありながら、災害時に通行止めとなるおそれがあります。



事業後

- ◆ 国道353号の危険箇所を回避し、災害時の代替路となる新たな道路ネットワークが確保されます。
- ◆ 高速道路に準じた速達性と定時性の高い走行が可能となり、移動時間が短縮されます。

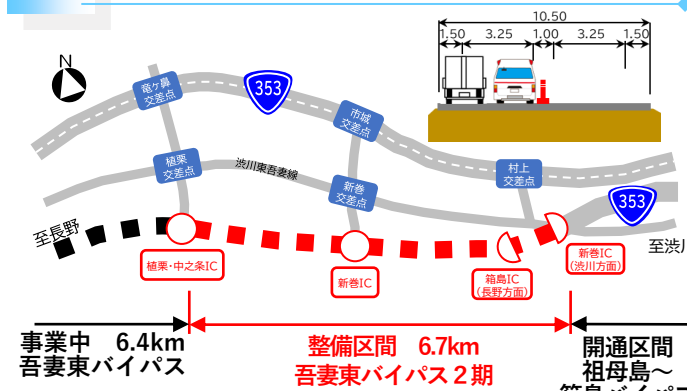


成果を示す項目	実施前
急傾斜地崩壊危険区域	10箇所
所要時間(渋川伊香保IC～草津温泉)	約1時間30分

実施後(目標)
バイパス完成により回避
約1時間(30分短縮)



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は用地取得、埋蔵文化財調査、橋梁工事、道路改良工事を推進します。



どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

バイパス道路をつくりま

地元の声

- ・吾妻は災害で交通止めとなると陸の孤島になるため早く整備してほしい。(地元住民)
- ・道路が狭く、すれ違いに支障があるので、円滑に通行できるようにしてほしい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 長野原町与喜屋～孺恋村鎌原
- 事業内容: バイパス整備 延長 8.5km 道路幅 9.5m
- 事業期間: 令和元年度～
- 緊急輸送道路: 該当(第一次緊急輸送道路)
- 重要物流道路: 該当
- 現在の交通量: 10,095台/日(国道144号)(R3年度)
- 計画交通量: 4,200～8,900台/日(バイパス)(R22年度) 300～4,300台/日(国道144号)

事業前

- ◆ 線形不良箇所が38箇所あり、見通しが悪く交通事故のおそれがあるとともに、雨量規制や土砂崩れにより通行止めが過去に6回発生しています。(H19～R3)



国道144号幅員狭小状況



H28年 倒木による通行規制

事業後

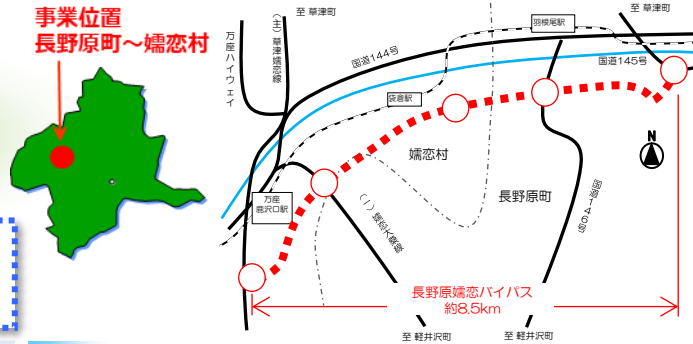
- ◆ 幅員が広く、見通しの良い道路となります。
- ◆ バイパスを整備することで、災害時や事故等が発生した際の孤立化リスクが軽減され、利便性も向上します。



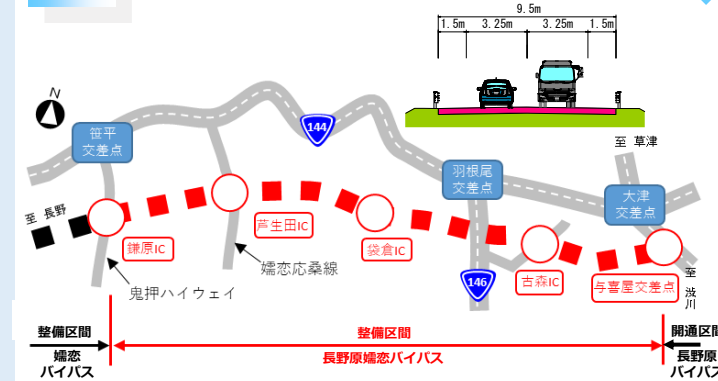
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
災害時等の孤立化リスクの解消	現道通行規制 H19～R3 : 6回
線形不良箇所	38箇所

実施後(目標)
バイパス完成により解消
バイパス完成により回避



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は引き続き用地取得を進めるとともに、橋梁工事を進める予定です。



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤を
つくりました

地元 の声

・避難所に土石流が流れてこないように、対策をして欲しい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 長野原町与喜屋
- 事業内容: 砂防堰堤 1基
- 事業期間: 令和元年度～令和7年度

事業前

- ◆ 渓流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。

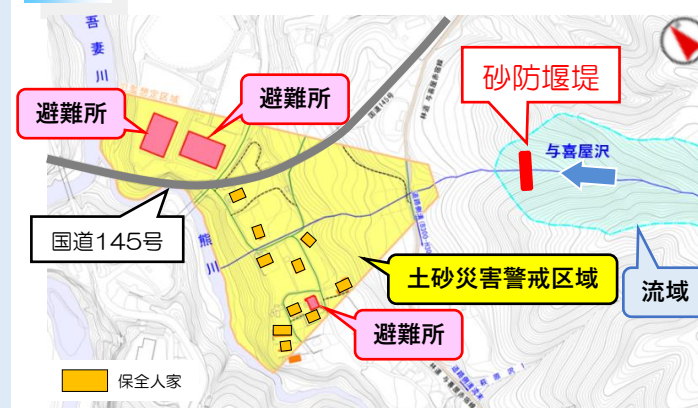


事業後の状況

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	10戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	3箇所 (与喜屋公民館、屋内運動場、若人の館体育館)
被害を受けるおそれのある重要交通網	1箇所 (国道145号)

実施後(目標)
0戸
0箇所
0箇所

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度に事業が完了し、土砂災害のリスクが軽減されました。



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

地すべり防止施設をつくりました

地元の声

- ・人家や避難所が被災しないよう、地すべりの進行を止めて欲しい。(地元住民)
- ・中学校やこども園に向かう町道の通行止めを解消して欲しい。(地元住民)

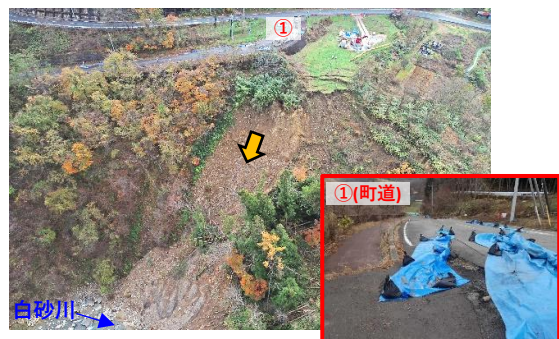
事業の概要

- 事業箇所: 中之条町生須
- 事業内容: 集水井工 1基、アンカー工
- 事業期間: 令和元年度～令和7年度

※ 集水井(しゅうすいせい)とは、地すべりの原因となる地下水を、井戸を掘って効率的に集水し、安全に排水するものです。

事業前

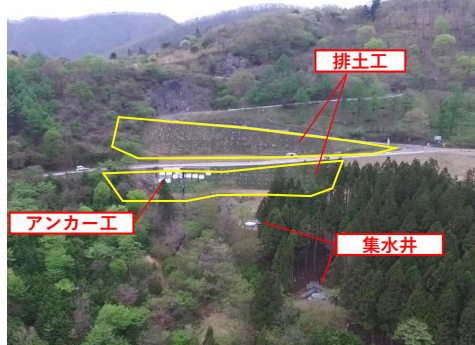
- ◆ 平成30年9月に地すべりが発生し、斜面が大規模に崩落したほか、町道が変状し、通行止めとなりました。



事業前の状況

事業後

- ◆ 地すべり対策工を実施し、地すべりの活動を抑えることで、地すべりによる被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

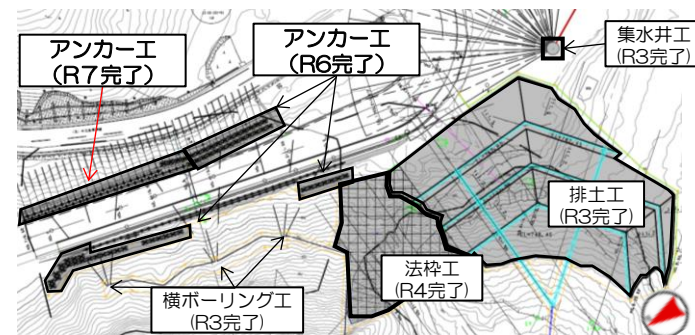
成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	37戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	2施設 (保育園、商工会六合支所)

実施後(目標)
0戸
0施設



事業位置
中之条町

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度で事業完了となりました。



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤を
つくります

地元 の声

・いつ発生するかわからない土石流を防ぐために、早く整備してほしい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 東吾妻町箱島
- 事業内容: 砂防堰堤 1基
- 事業期間: 令和3年度～

事業前

- ◆ 溪流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。



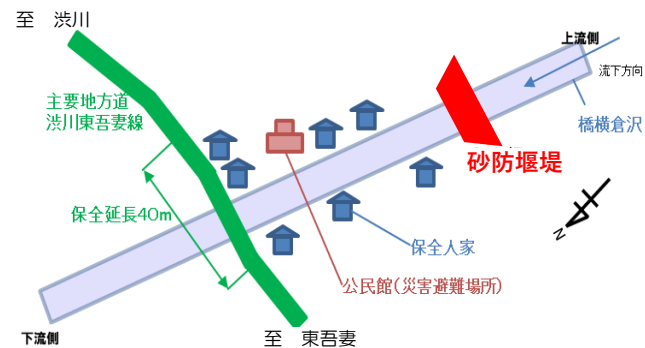
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	7戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設 (箱島公民館)
被害を受けるおそれのある重要交通網	1箇所 (県道渋川東吾妻線)

実施後(目標)
0戸
0施設
0箇所



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、引き続き砂防堰堤工事を実施します。



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

地すべり防止施設をつくりました

地元の声

・地すべりに伴う町道寸断による孤立化を防止するために、地すべり対策を進めてほしい。(地域住民)

事業の概要

- 事業個所: 中之条町蟻川
- 事業内容: 横ボーリング工、杭工、護岸工、水路工
- 事業期間: 令和3年度～令和7年度

事業前

- ◆ 令和元年10月に地すべりが発生し、町道や耕作地が被害を受けました。



事業前の状況

事業後

- ◆ 地すべりの活動を抑えることで、地すべりによる被害のリスクを軽減します。



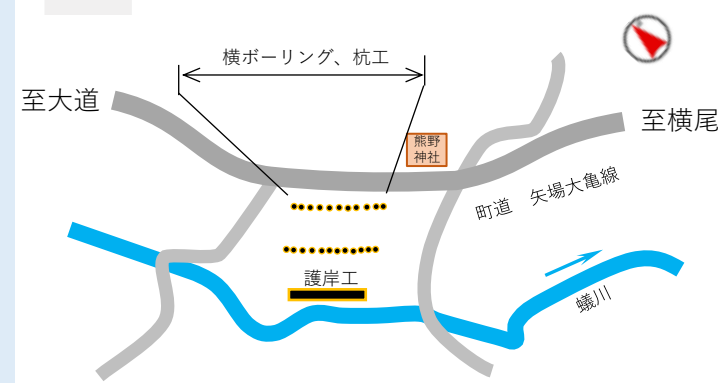
事業後の状況

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	15戸

実施後(目標)
0戸



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度で事業完了となりました。



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

法面对策を
します

地元の声

・急勾配の斜面であるため、大雨が降ったりすると非常に心配。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 東吾妻町原町
- 事業内容: 法面工 A=541m²
- 事業期間: 令和5年度～

事業前

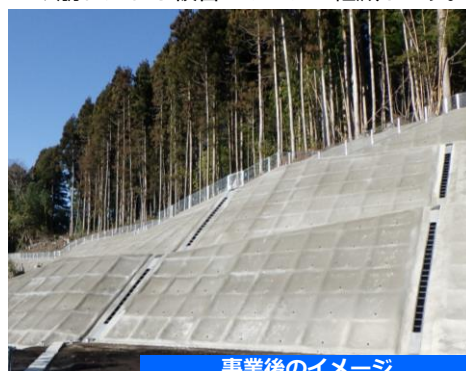
- ◆ 斜面が急であるため、大雨等でかけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

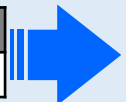
事業後

- ◆ 法面对策をすることにより、斜面を安定させ、かけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	7戸

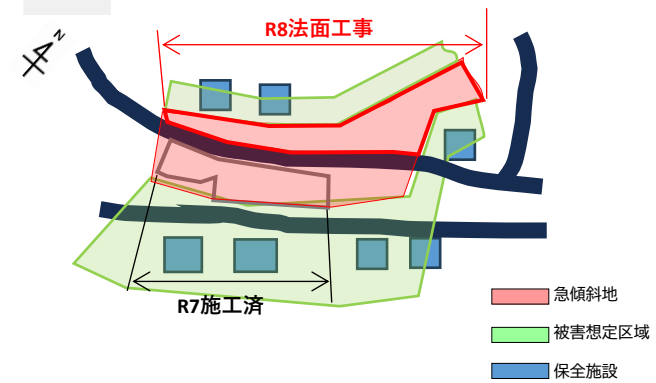


実施後(目標)
0戸



事業位置
東吾妻町

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、引き続き法面の工事を行います。



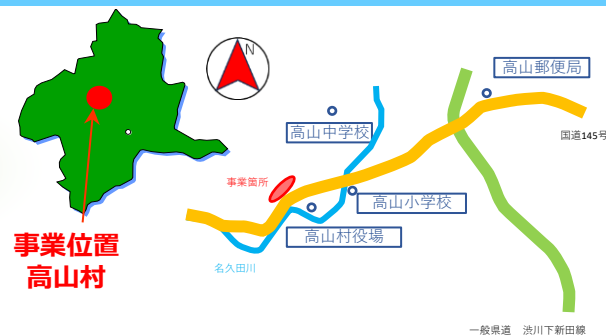
どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

防護柵をつくります

地元の声

・人家の背面が斜面のため、崩れないか不安です。(地元住民)



事業の概要

- 事業箇所:高山村中山
- 事業内容:防護柵工 L=162m
- 事業期間:令和5年度～

事業前

◆ 斜面が急であるため、大雨等でかけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

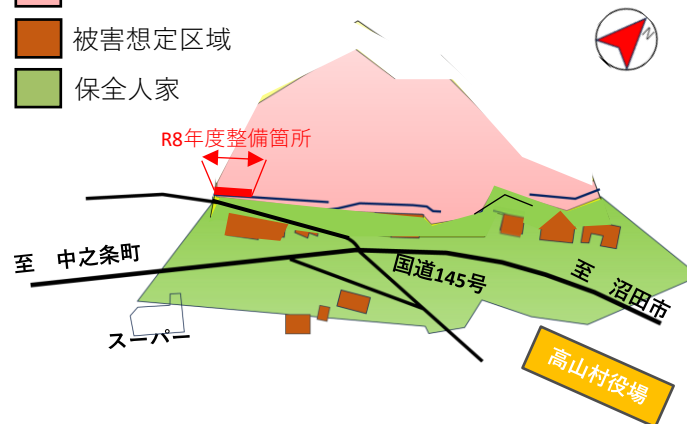
◆ 防護柵をつくることにより、落石や崩壊土砂を受け止め、かけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)

- 急傾斜地危険区域
- 被害想定区域
- 保全人家



今、何をしているか

R8年度は、防護柵の工事をを行います。



成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	9戸
被害を受けるおそれのある重要交通網	1路線 (国道145号)

実施後(目標)
0戸
0路線

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤を
つくります

地元の 声

・土砂災害が起こると人家等に被害が発生するため、土砂の流出を防いでほしい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 東吾妻町大戸
- 事業内容: 砂防堰堤 1基
- 事業期間: 令和4年度～

事業前

- ◆ 渓流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。

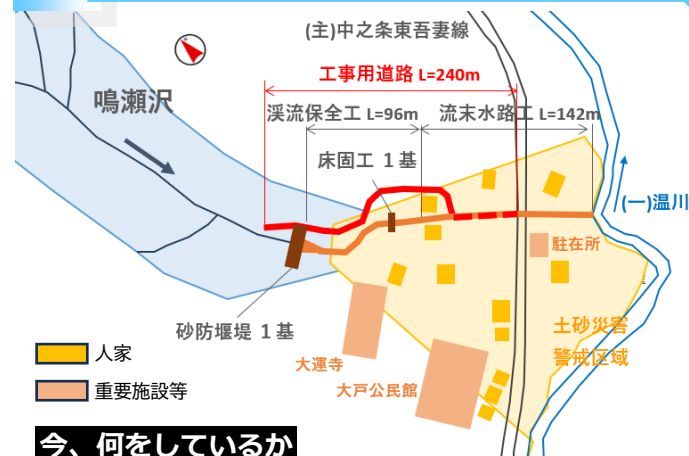


事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	12戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	3施設 (大戸公民館、大戸駐在所、大運寺)
被害を受けるおそれのある重要交通網	1箇所 (県道中之条東吾妻線)

実施後(目標)
0戸
0施設
0箇所

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、工事用道路及び砂防堰堤の工事を行います。



工事用道路計画位置

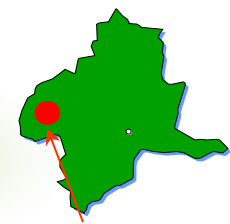
どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

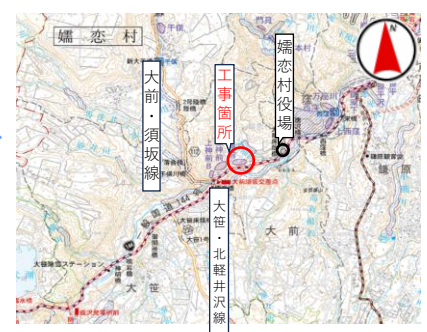
防護柵・擁壁と法面对策をします

地元の声

・斜面からの倒木や落石の危険があるため対策を行ってほしい。(地元住民)



事業位置
孺恋村



事業の概要

- 事業箇所: 孺恋村大前
- 事業内容: 防護柵工 L=36m、擁壁工 L=32m、法面工 A=120m²
- 事業期間: 平成29年度～

事業前

◆ 斜面が急であるため、大雨等でかけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

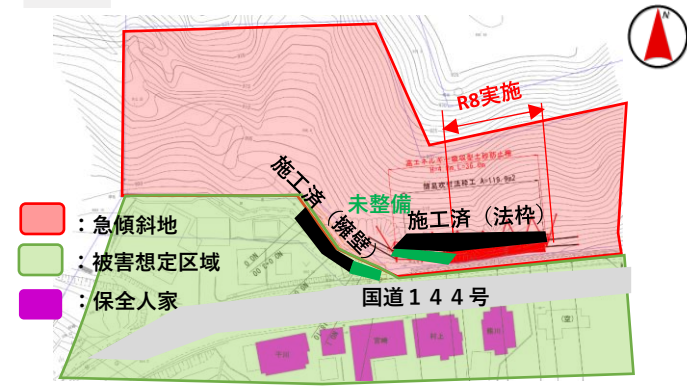
事業後

◆ 防護柵・擁壁・法面对策をすることにより、落石や崩壊土砂を受け止め、かけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、防護柵の工事をを行います。



成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	5戸
被害を受けるおそれのある重要交通網	1路線 (国道144号)

実施後(目標)
0戸
0路線

国道292号（洞口工区）登坂車線整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

安全で快適な移動を可能にするため

登坂車線を整備します

地元の声

- ・急坂で速度が出せず、後続車に迷惑をかけてしまい申し訳なく思います。(路線バス運転手)
- ・積雪時にスタックする車があると、交通が麻痺してしまい困ります。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 長野原町大津
- 事業内容: 登坂車線整備 延長444m
道路幅員10.5m
- 事業期間: 平成29年度～
- 現在の交通量: 7,299台/日(自動車)
(令和3年度)

事業前

◆道路勾配が急で大型車の速度が低下するため、後続車両の円滑な走行に支障をきたしています。



事業前の状況

事業後

◆登坂車線の整備により、無理な追い越しを防ぎ、円滑な通行を確保します。



事業後のイメージ

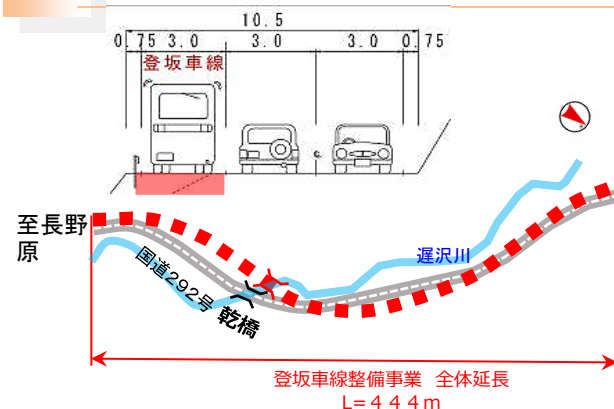
成果を示す項目	実施前
急勾配区間の追い越し	不可

実施後(目標)
可



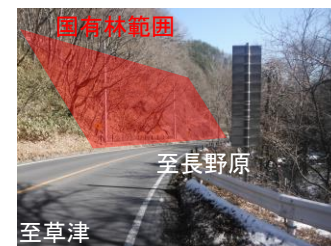
事業位置
長野原町

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、国有保安林解除の手続き及び用地取得を進めます。



国有林範囲

至長野原

至草津

国道406号（大戸工区）現道拡幅事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

安全で快適な移動を可能にするため

道路を拡幅します

地元の声

- ・道路が狭く、車のすれ違いが危険な状況なので、安全に通行できるようにしてほしい。(地元住民)
- ・冬は除雪により通行スペースが狭くなるので、十分な幅員を確保してほしい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 東吾妻町大戸
- 事業内容: 現道拡幅 延長 700m 道路幅 9.8m
- 事業期間: 令和元年度～
- 現在の交通量: 1,944台/日(自動車) (令和3年度) 2人/12時間(歩行者) 2台/12時間(自転車)

事業前

- ◆ 道路の幅が狭く、大型車両のすれ違いが困難なため、円滑な通行に支障があります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 道路の幅を広げ、大型車両のすれ違いを容易にすることで、円滑な通行を確保します。



事業後のイメージ

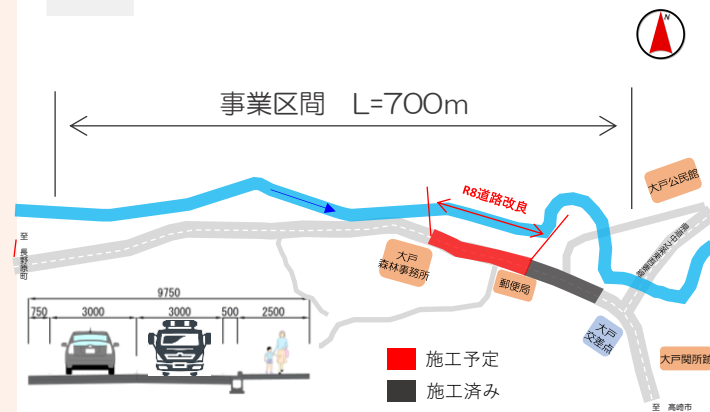
成果を示す項目	実施前
大型車両の通行機能	すれ違い困難(幅員5.0m)

実施後(目標)
すれ違いが容易に(幅員6.0m)



事業位置
東吾妻町

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

これまでの、大戸交差点側の道路改良工事を実施し、令和8年度は続き区間の道路改良工事および用地取得を進めていきます。



県道大笹北軽井沢線 (鎌原工区) 現道拡幅事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

安全で快適な移動を可能にするため

道路を拡幅をします

地元の声

・別荘地があり、週末には避暑を求めて観光客の歩行者が増えるため、歩道の設置と円滑な車のすれ違いができるよう、2車線の道路整備をお願いしたい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 孺恋村鎌原
- 事業内容: 現道拡幅 延長1.4km 幅員9.3m
- 事業期間: 平成23年度～
- 現在の交通量: 1,814台/日(自動車) (令和3年度) 2人/12時間(歩行者) 0台/12時間(自転車)

事業前

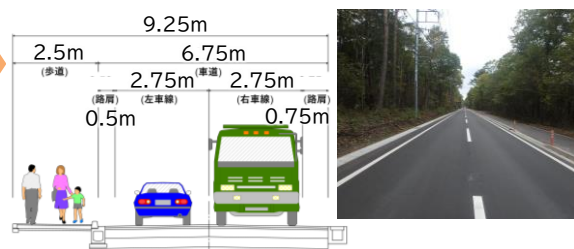
- ◆ 道路が狭く、一部で車両のすれ違いが困難なため、円滑な通行に支障があります。
- ◆ 浅間山も近く、火山噴火時の迅速な避難、救助活動を行う上での支障となります。
- ◆ 周辺には別荘地が点在していますが、歩道も未整備で歩行者も危険な状態です。



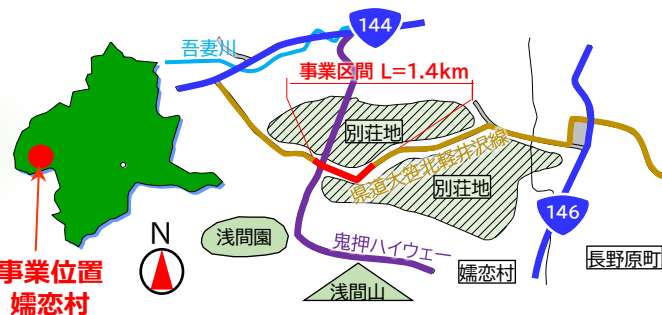
事業前の状況

事業後

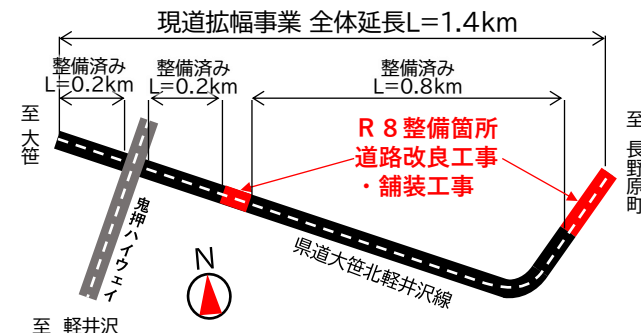
- ◆ 車道部が2車線となることで、全区間で車両同士のすれ違いが可能となり、円滑な通行が確保されます。また、歩道が整備されることで、歩行者の安全が確保され、散策や周遊性が向上します。



事業後のイメージ



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

これまでに測量設計、用地取得が完了し、令和8年度は事業完了を目指し、道路改良工事及び舗装工事を実施します。



成果を示す項目	実施前
車両同士のすれ違い	すれ違い困難 (幅員3.6m)

実施後(目標)
すれ違いが容易に (幅員5.5m)

国道146号 (吉森3期工区) 現道拡幅事業 (浜岩橋含む)

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

安全で快適な移動を可能にするため

道路を拡幅します

地元の声

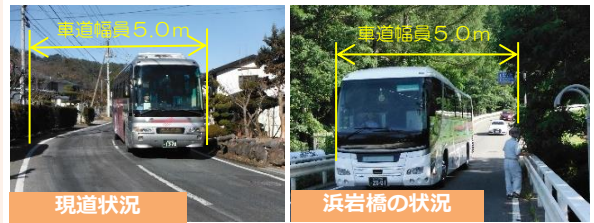
- ・道路が狭く、対向車と接触の危険があるので拡幅してほしい。(地元住民)
- ・歩道がなく、車が歩行者のすぐ脇を通るので怖い。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 長野原町羽根尾～古森
- 事業内容: 現道拡幅 延長 510m 道路幅 9.3m
- 事業期間: 平成27年度～
- 現在の交通量 : 3,827台/日(自動車) (令和3年度)

事業前

- ◆ 道路の幅が狭く、大型車のすれ違いが困難であり、円滑な通行に支障があります。
- ◆ また、歩道が無く、歩行者が路肩を歩くため、交通事故のおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 道路の幅を上げ、歩道を設置することで、円滑な通行が確保されるとともに、車両も歩行者も安全に通行できるようになります。



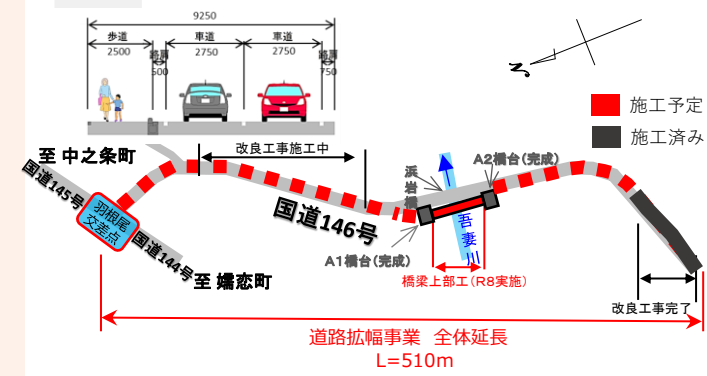
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
大型車の通行機能	すれ違い困難 (幅員5.0m)

実施後(目標)
すれ違いが容易に (幅員5.5m)



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

これまでに橋梁下部工工事や一部道路改良工事を実施し、令和8年度は橋梁上部工工事、道路改良工事を行います。



しもさわたりはらまち はらまち 県道下沢渡原町線 (原町工区) 現道拡幅事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

安全で快適な移動を可能にするため

道路を拡幅します

地元の声

・道路が狭く、車のすれ違いが困難な状況なので、安全に通行できるようにしてほしい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 東吾妻町原町
- 事業内容: 現道拡幅 延長900m 幅員7.5m
- 事業期間: 平成28年度～
- 現在の交通量: 1,637台/日(自動車) (令和3年度) 9人/12時間(歩行者) 3台/12時間(自転車)

事業前

◆ 道路の幅が狭く、大型車両のすれ違いが困難なため、円滑な通行に支障があります。



事業前の状況

事業後

◆ 道路の幅を広げ、大型車両のすれ違いを容易にすることで、円滑な通行を確保します

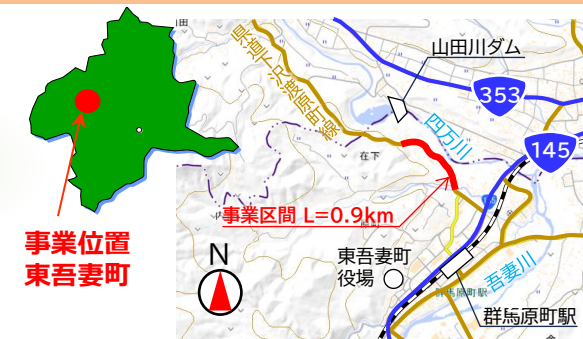


事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
車両同士のすれ違い	すれ違い困難(幅員3.5m)

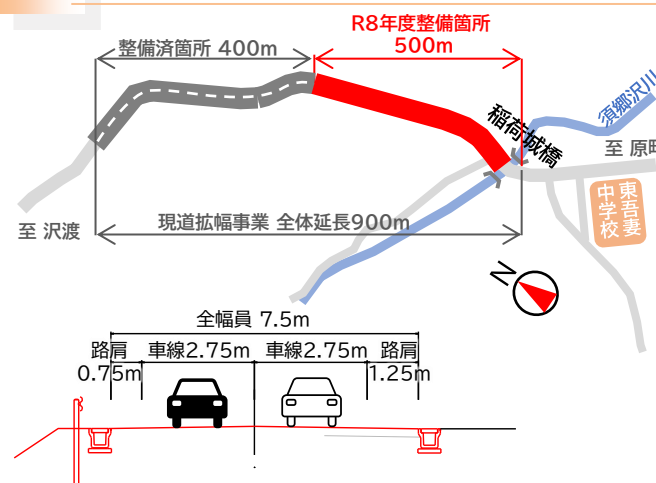


実施後(目標)
すれ違い容易に(幅員5.5m)



事業位置
東吾妻町

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

これまでに測量設計が完了し、令和8年度は、用地取得及び道路改良工事を実施します。



国道353号（伊勢町工区）歩道整備事業

事業完了

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

車線分離標を整備しました

地元の声

- ・歩道がないので児童と車両との接触事故が心配です。(地元住民)
- ・歩道がなく通学時に危険を感じています。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 中之条町大字伊勢町
- 事業内容: 歩道整備 延長230m
- 事業期間: 令和4年度～令和7年度

- 現在の交通量: 13,589台/日(自動車)
(令和3年度) 5人/12時間(歩行者)
13人/12時間(自転車)

事業前

- ◆ 歩道が狭く、通学することもが交通事故の危険にさらされています。



事業前の状況

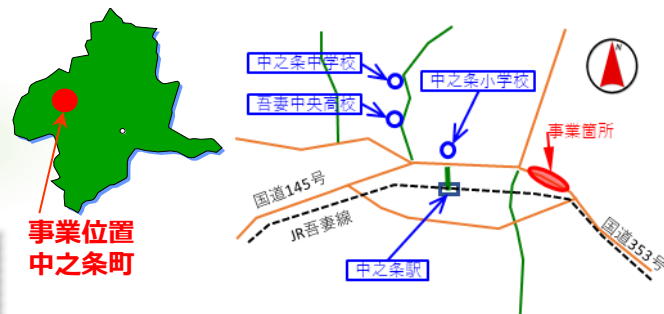
事業後

- ◆ 車線分離標を設置することで、歩行者の安全な通行空間を確保しました。



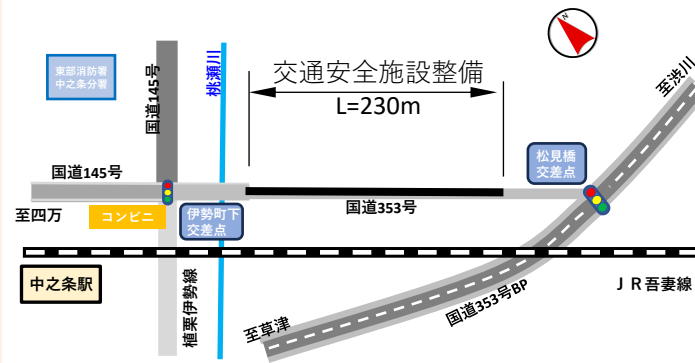
事業後の状況

成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
安全に通学できる歩行空間の確保	0%	100%



事業位置
中之条町

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度に、車線分離標をはじめとする交通安全対策施設を設置し、児童が安全に通行できる空間を確保しました。



どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

道路への落石を防ぐ施設をつくります

地元の声

・斜面の崩落の危険性があるため、斜面对策をしてほしい(地元住民)



事業位置
孺恋村

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



— 実施中
— 未着手

至 干俣 県道大前須坂線 至 大前

干俣の清水 干俣川

2工区 3工区 1工区

今、何をしているか

令和8年度は1、2工区の落石対策工事を実施します。



事業前

◆ 道路法面の浸食が進行しており、大雨等の際には、落石や土砂崩落が発生して道路が寸断され、孤立集落が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

◆ 法面の落石対策を行うことで、落石や土砂崩落による道路の寸断を防止し、孤立集落が発生するリスクを軽減します。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
落石危険箇所数	3箇所



実施後(目標)
0箇所

どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

道路への落石を防ぐ施設をつくります

地元の声

・落石の危険性があるため、対策をしてほしい(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 孺恋村大字干俣地内
- 事業内容: 落石対策 4箇所
- 事業期間: 令和7年度～
- 現在の交通量: 293台/日(自動車)(令和3年度)
- 緊急道路輸送区分: 指定なし

事業前

◆ 道路法面の浸食が進行しており、大雨等の際には、落石や土砂崩落が発生して道路が寸断され、孤立集落が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

◆ 法面の落石対策を行うことで、落石や土砂崩落による道路の寸断を防止し、孤立集落が発生するリスクを軽減します。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
落石危険箇所数	4箇所

実施後(目標)
0箇所



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

R8年度は1、2工区の落石対策工事を実施します。



どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

道路への崩落を防ぐ 施設を整備をします

地元の声

・ブロック積にひびが入っているので対策してほしい(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 中之条町大字四万
- 事業内容: 土砂崩壊対策 1箇所
- 事業期間: 令和7年度～
- 現在の交通量: 1,491台/日(自動車) (令和3年度)
- 緊急輸送道路区分: 指定無し

事業前

◆ 既存の擁壁にひびが入っており、大雨等の際には、土砂崩落が発生して道路が寸断され、孤立集落が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

◆ 法面の土砂崩落対策を行うことで、落石や土砂崩落による道路の寸断を防止し、孤立集落が発生するリスクを軽減します。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
土砂崩壊危険箇所数	1箇所

実施後(目標)
0か所

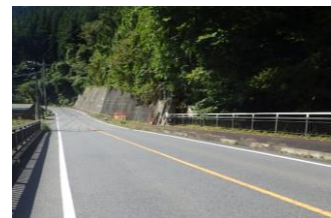


事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

R8年度は用地取得が必要な範囲を決定するため、用地測量を行います。



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤を
つくります

地元 の声

・土砂災害が起こると人家等に被害が発生するため、土砂の流出を防いでほしい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 中之条町四万
- 事業内容: 砂防堰堤 1基
- 事業期間: 令和7年度～

事業前

- ◆ 渓流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

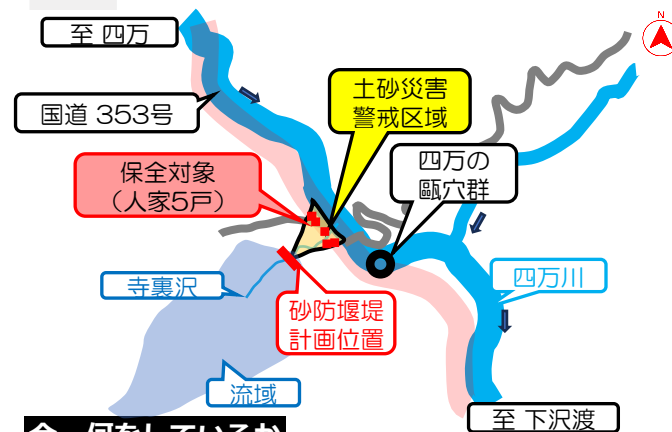
成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	5戸
被害を受けるおそれのある迂回路のない道路	1箇所 (国道353号)

実施後(目標)
0戸
0箇所



事業位置
中之条町

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、砂防堰堤の詳細設計を行います。



計画箇所